

8. 20土砂災害の教訓を踏まえ、再び同じ災害を繰り返さないためには、土砂災害に関する防災意識の醸成を図るとともに、災害の記憶を風化させず、被災の事実を後世に伝承していく必要があります。

「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」では、土砂災害への防災意識を県民へ広く啓発することに加えて、被災事実を地域に確実に伝承していく取組を積極的に実施することにより、地域防災力の向上を推進していきます。



防災意識の醸成による地域防災力の向上



「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイト

身近な土砂災害を知ろう 「啓発」

- 土砂災害防止月間における集中的な情報発信
- 様々な機会を活用した啓発活動



①土砂災害から身を守る知識を身につける
「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、他部局等が実施する取組や各種イベント等と一層の連携を図り、県民への防災意識の醸成を促進することを通じて、「県民一人一人が土砂災害から身を守る知識を身につけている状態」の実現を目指します。

土砂災害について学ぼう 「防災教育」

- 学校の防災教育と共同した体験授業の展開（砂防出前講座）
- 学校安全指導者に対する説明



②学校が独自に防災教育をできる体制づくり
県教育委員会と密接な協力連携関係を築き、「学校安全指導者への防災意識を高め、各学校が独自に防災授業を実施できる体制づくり」を目指します。

土砂災害を未来に伝えよう 「伝承」

- 地域の砂防情報アーカイブの推進
- 歴史的砂防施設の保存



③地域の「語り部」を育成
子供たちが、学校の学習発表会等の機会を通じて、親や地域の方へ、過去に身近で起きた土砂災害について発表するなど、「新たな地域の語り部」を育成することにより、過去の災害が確実に地域住民へ伝承されていく状態の実現を目指します。



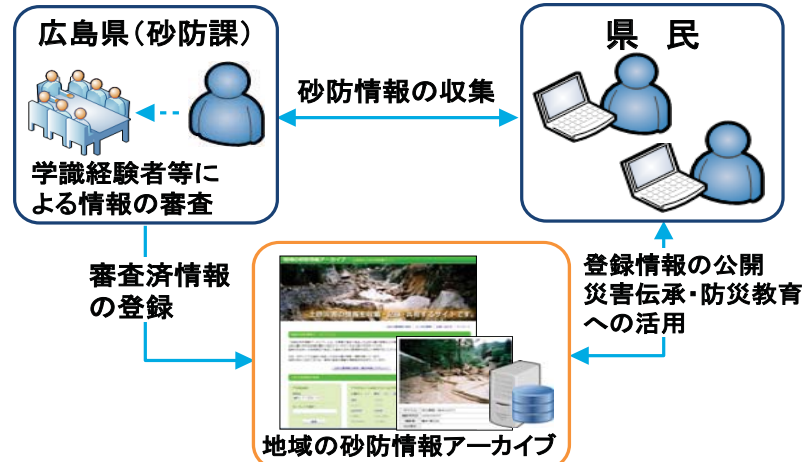
学習発表会で地域に伝承

「地域の砂防情報アーカイブ」



■概要

「地域の砂防情報アーカイブ」は、地域の皆様から提供された過去の土砂災害に関する貴重な写真等を記録・公開し、土砂災害の記録を次世代に語り継ぎ、地域の防災意識の向上を図るため、平成23年度より県ホームページ上で「地域の砂防情報アーカイブ」を運用開始し、これまでに966点の過去の災害写真や体験談等の資料を公開している。



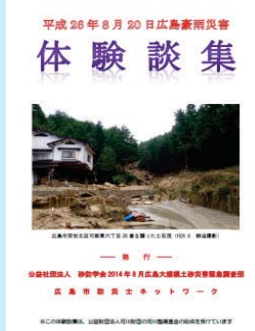
「地域の砂防情報アーカイブ」イメージ



災害情報の記録・公開の一例



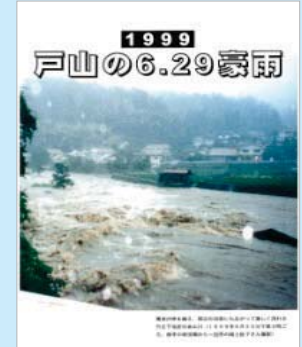
平成26年8.20土砂災害
[広島市安佐南区]



昭和20年枕崎台風(厳島神社)
[廿日市市宮島・紅葉谷川]



平成28年6月豪雨(堂々川6番砂留)
[福山市神辺町]

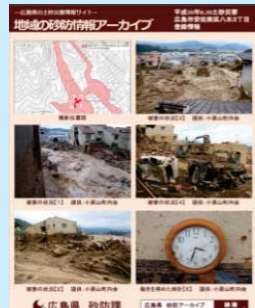


平成11年6.29豪雨記録誌

災害情報の活用



地域と連携した災害伝承パネル展



学生にフィールドワーク“語り部育成”
宮島紅葉谷川「庭園砂防」



地域主催のイベント
《全国砂留シンポジウム》



地域の方が“語り部”となり伝承